論文タイトル / Paper Title

著者名 / Author Name

2025-08-18

Found bibliography line:

# はじめに

ここにはじめにの内容を書きます。このテンプレートはLaTeXで論文や報告書を作成するためのものです。 LaTeXの詳細については、(Mittelbach et al. 2004)や(Knuth 1984)を参照してください。 また、最新の情報は(Team 2024)から入手できます。日本語での解説は(日本語LaTeX研究会 2020)が詳しいです。

## 研究の背景

研究の背景について説明します。(Knuth 1984)によると、TeXは組版システムとして優れた機能を持っています。

## 研究の目的

研究の目的について説明します。(日本語LaTeX研究会 2020)を参考に、日本語文書の美しい組版を目指します。

# 引用例

ここに引用を入れてみましょう (E. Author and Author 2024)。 また、別の文献も引用できます (B. Author 2024)。

# 結論

ここに結論を書きます。

## まとめ

研究のまとめについて説明します。

## 今後の課題

今後の課題について説明します。

Author, Book. 2024. *Example Book Title*. Example City: Example Publisher.

Author, Example, and Another Author. 2024. “Example Research Paper Title.” *Journal of Example Research* 1 (1): 1–10.

Knuth, Donald E. 1984. *The TeXbook*. Reading, Massachusetts: Addison-Wesley.

Mittelbach, Frank, Michel Goossens, Johannes Braams, David Carlisle, and Chris Rowley. 2004. *The LaTeX Companion*. 2nd ed. Boston: Addison-Wesley.

Team, LaTeX Project. 2024. “The LaTeX Project.” <https://www.latex-project.org/>.

日本語LaTeX研究会. 2020. *日本語LaTeX入門*. 東京: 技術評論社.